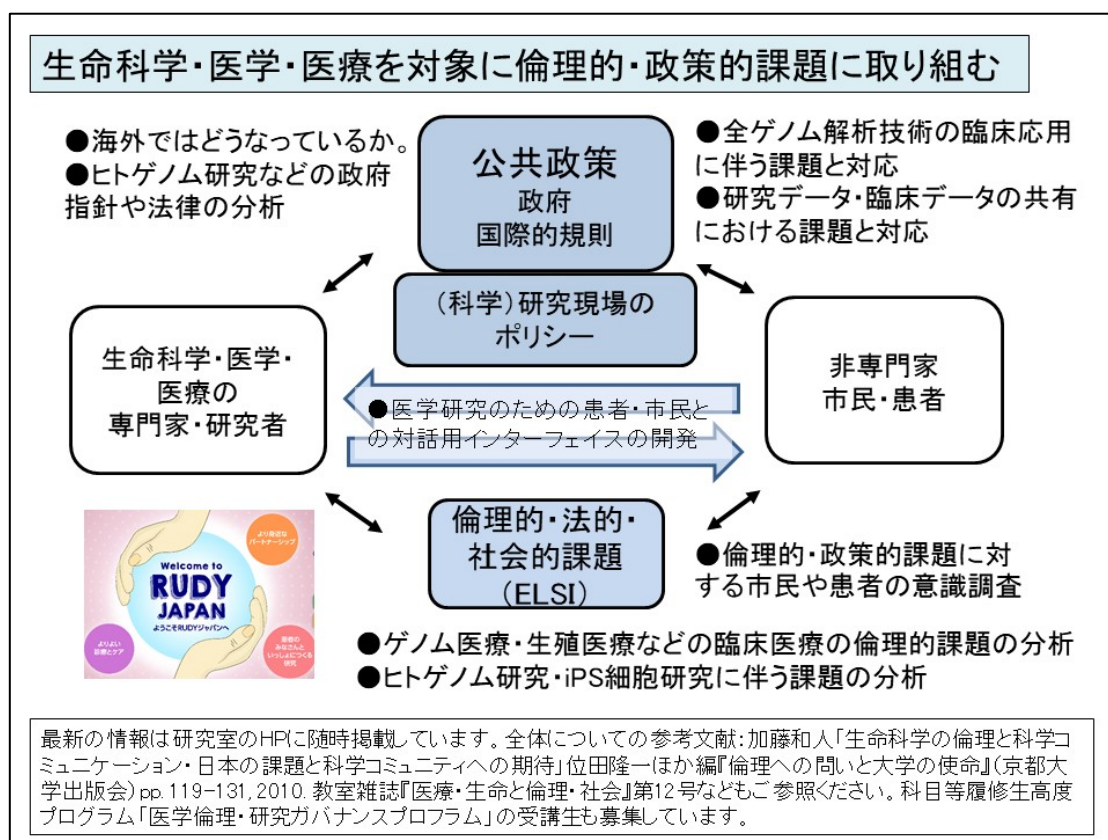


講座名（専門科目名）	社会医学講座（医の倫理と公共政策学）	教授氏名	加藤 和人
学生への指導方針	各人の出身分野や経験に合わせ、情報の収集・分析や論文作成の方法について指導します。研究室のプロジェクトに関わり、海外研究者との共同研究にも参加してもらいます		
学生に対する要望	今後重要になる分野を開拓したい、専門家（医師・研究者）と一緒に、今後の医学・医療の進め方をよりよくしていきたいという熱意のある方を求めます。世界各地の研究者と交流し、グローバルな舞台で仕事がしたいと考える方も歓迎します。		
問合せ先	(Tel) 06-6879-3688 (Email) <a href="mailto:info@eth.med.osaka-u.ac.jp">info@eth.med.osaka-u.ac.jp</a>	担当者	安田 智子
その他出願にあたっての注意事項等	出願前に研究室に連絡を取り、教員と面談していただくことを求めます		

(以下教室紹介)

医学・生命科学研究および高度な医療の発展は、社会に多くの恩恵をもたらしています。その一方で、研究や医療が社会に理解され、信頼されて行われるためには、倫理的・法的・社会的課題（Ethical, Legal and Social Implications, ELSI）への取り組みが不可欠です。

当教室では、医学・生命科学・医療の発展に伴う課題を分析し、対応策・解決策を提案するための研究を行っています。



これまでの生命倫理には、科学・医療の発展を抑制するというイメージが少なからずありました。私たちは現場の研究者・医療者と人文社会系の専門家、患者・市民などとの協働を促進し、「ものごとを前に進める」ための活動を行っています。

理系・文系を問わず、様々な背景の方が入学してこられます。各自が自分のテーマを持ち研究を行うと同時に、異分野の人々と交流することで、医学・生命科学・医療と社会との関わりについての広い知識と視野を獲得できます。卒業後は、さまざまな分野で、専門家と社会（患者・市民）をつなぐプロフェッショナルとして活躍できます。

最近では、オックスフォード大学など海外の大学との交流にも力を入れています。また、平成 28 年度より大学院プログラム「医学倫理・研究ガバナンスプログラム」を開始しており、第一線の研究者・専門家による多数の講義・演習を受講することができます。